

| | | | | | |
|------|---------------------|-----------|-------------|------------|--------|
| 講義名 | 自己発見とキャリア開発 B (K11) | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 金 承珠 | 開講期・曜日・時間 | 後期 水曜日 1 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1 年生 |
| | | | | ナンバリング・コード | FYE120 |

主題と概要

第1セメスターの「自己発見とキャリア開発A」のクラスを継続して、クラスメンバーや担当教員との相互啓発的環境の中で様々な活動を行う必修科目です。学歴祭ではすべてのクラスが「気づきの教育」で得た成果を含む展示を行います。授業の前半では、この展示のための企画立案・展示物作成等を行うことが中心になります。授業後半では、「自己発見とキャリア開発A」で考えた「学びの道筋（キャリアビジョン）」が順調に進んでいるかどうかを確認し、以降の学びの道筋を考えます。

到達目標

「学歴祭の展示」に取り組む中で、グループや個人で設定した課題に取り組み、課題を達成することを通して、「コミュニケーション力」「常識力」「グループワーク力」「気づき力」「創造力」「学び力」など、本学で学ぶために不可欠であり、かつ社会に出てからも必要な基礎能力を向上し続けることができるようになる。
「自己発見とキャリア開発A」で考えた「学びの道筋（キャリアビジョン）」が順調に進んでいるかどうかを確認して、新たに計画を作成することを通して、自ら目標や課題を設定して実行することができるようになる。

提出課題

全クラス共通の「提出課題」としては「学歴祭展示」を作成します。クラスごとに課題が異なりますので、担当教員の指示に従って下さい。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物については授業中に講評・解説する。

評価の基準

基本的には次の通りであるが、クラスにより差異がある。詳しくは担当教員から知らされます。
平常点（出席をした上での授業中などの活動状況）50点、取り組んだ課題の出来栄50点として、合計100点とする。なお、学歴祭前日・当日も出席すべき日となっているので注意してください。

履修にあたっての注意・助言他

「自己発見とキャリア開発A」のクラスが維持されます。指定されたクラスで受講して下さい。

教科書

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

参考図書

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

その他

必要に応じて配布します。

授業計画

担当教員ならびにクラス状況により、進行には差異があります。
1～8回 学歴祭への取り組み
学歴祭前日ならびに当日の参加
9回 学歴祭の振り返り
10回～13回 個別面談が予定されています
14回・15回 2年以降の「学びの道筋（キャリアビジョン）」の作成と発表

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

学則ならびに大学設置基準では1回の講義について4時間の自己学習が必要とされています。
学歴祭の準備のためのグループでの授業時間外活動、2年以降の「学びの道筋（キャリアビジョン）」の作成のための個人作業などが必要となります。クラスにより内容は異なりますので、担当教員の指示に従って下さい。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

| |
|--|
| |
|--|